

Safety Precautions

UV INKJET PRINTER

JFX550-2513

JFX600-2513

安全上の注意

本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

D203596-11

Original instructions

目次

はじめに	3
安全にお使いいただくために	4
シンボルマーク表示について	4
使用上の警告と注意	5
使用上の制限について	10
してはいけない危険な行為	11
インクやその他本機で使用されている液体について	14
本機の制限について	15
設置上のご注意	16
設置スペース	17
アジャスターフットについて	18
本機を移設したいとき	18
警告ラベル	19
同意確認書	22

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター JFX550-2513, JFX600-2513をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、安全上のご注意（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2021 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- JFX550-2513, JFX600-2513（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用すると、冷却装置が故障するおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害が発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。










次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試してみてください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内 容		
	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警告



- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流した後に外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったら、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをし、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気のある場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110番に相談してください。
（大阪）072-727-2499 24時間対応
（つくば）029-852-9999 9～21時対応

注記



- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

JFX600-2513 の1~20号機までは、ソケットを使って電源接続します。JFX600-2513 21号機以降および JFX550-2513は、配電盤から直接端子台に接続されます。電源工事については、電源接続工事についてをご確認ください。

⚠ 警告



- 本機から電源ケーブルを抜くときは、必ずソケットを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ソケットにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ソケットの中に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 濡れた手で電源ソケットを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

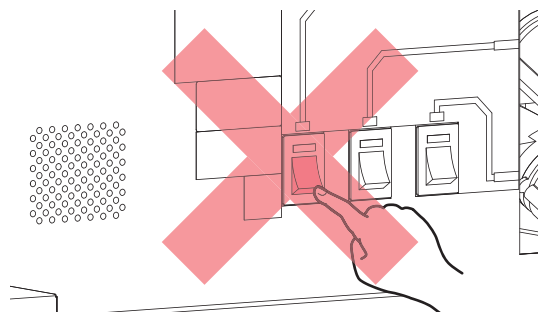


- 本機は、必ず接地（アース）極性付きの配電盤に接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注記



- 本機の主電源や制御PCの電源を切らないでください。電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ソケットを根元（カチッと音が鳴る）まで押し込んでください。

● バキュームユニットについて

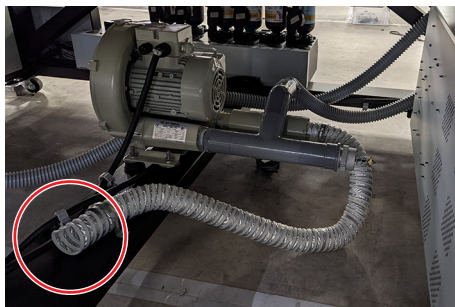
注記



- バキュームユニットを分解したり、改造したりしないでください。吸着力が低下したり、本機が発熱して故障の原因になります。



- リリーフ（圧力調整）弁に触れたり、バキュームユニット（テーブルの真下）の排気口をふさがないでください。吸着力が低下したり、本機が発熱して故障の原因になります。



- 低温の環境下で使用すると、バキュームユニットから甲高い音が発生することがあります。甲高い音が発生しても、故障ではありません。

● テーブルに乗らないでください

注記



- テーブルの上には絶対に乗らないでください。テーブル盤面の精度が狂って、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

● 可動部に注意してください

注意



- 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

警告



- 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

警告



- UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。



- UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光面、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。
 - (1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害：炎症など
 - 慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど
 - (2) 点灯中のランプを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。
 - 急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
 - 慢性障害：翼状片、白内障など

⚠ 注意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

注記



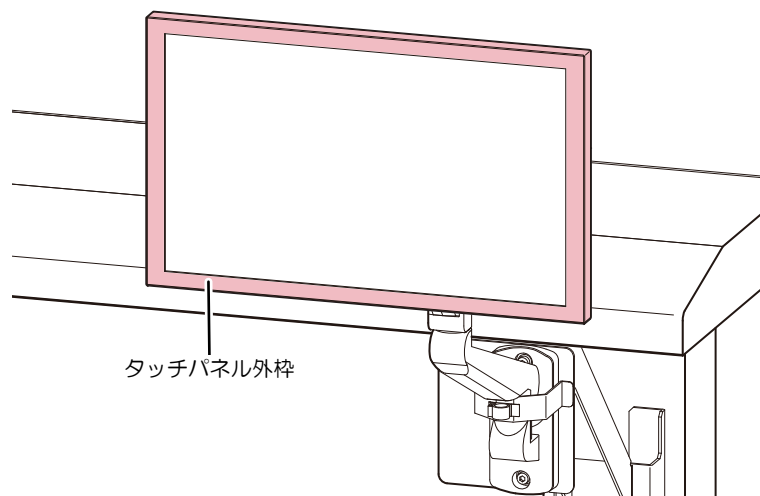
- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● タッチパネルについて

注記



- タッチパネルを強く押ししたり、擦ったり、突いたりしないでください。
- ボールペンや金属類などの堅いものでタッチパネルをタップしないでください。
- 画面の黒い外枠に触れないでください。
- タッチパネルの画面や黒い外枠に、テープやふせん等を貼り付けしないでください。感度が低下したり、操作できなくなるおそれがあります。



- タッチパネルに液体が付着した場合は、直ちに拭き取ってください。
- タッチパネル隙間に液体が入らないように注意してください。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警告



- 本機に子供を近づけないでください。

注記

● 本機の廃棄について

⚠ 注意



- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄されるときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例にしたがって処理してください。

● モニターアームについて

⚠ 注意



- モニターアームの耐荷重は8kgです。指定のモニター以外は取り付けしないでください。アームが破損するおそれがあります。
- タッチパネルを搭載したモニターアームが、本機正面側に張り出しています。作業中、モニターアームやタッチパネルにぶつかってケガをしないよう注意してください。

注記



- モニターアームの角度を変えることにより、タッチパネルの搭載角度や向きを変更できます。キャリッジ可動域やプリントに支障のない範囲で、アームの角度を変更してお使いください。

使用上の制限について

警告



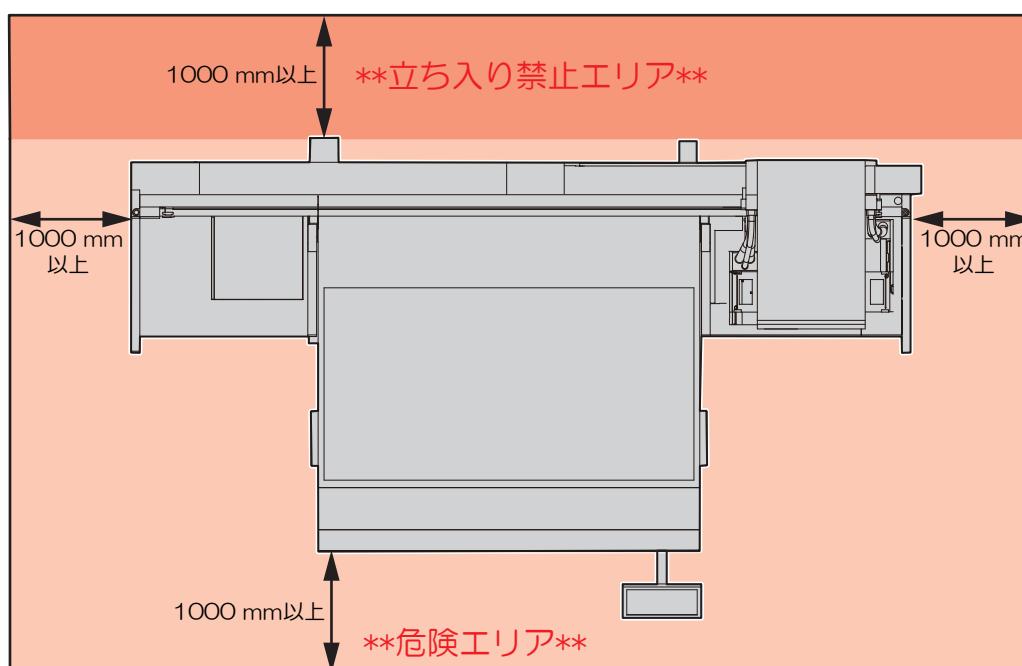
- 本機はキャリッジが左右に高速移動したり、Yバーが動いたり、高温部や危険な電圧部、またUV-LEDを搭載していて非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した方に限られます。



- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
 - 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
 - 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。



- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、隔離エリアへの立ち入りを禁止してください。また、プリント中やキャリッジ、Yバーなど本機が動いているときは、リスクアセスメント教育の受講有無に関わらず、立ち入り禁止エリアへの立ち入りを禁止します。



- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、本機を絶対に触らないでください。ケガをするおそれがあります。

してはいけない危険な行為

電源が入っているときは、以下に挙げた危険な行為は絶対にしないでください。定期メンテナンスなどでキャリッジが動いたときに、大きなケガ（粉砕やせん断）につながるおそれがあります。

● Yバーの背面に立ち入らない

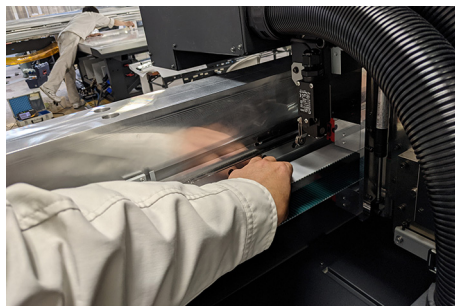


- 電源が入っているときは、Yバーの背面に立ち入らないでください。Yバーが動き出して思わぬ事故につながる可能性があります。

● キャリッジ周辺に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- キャリッジとYバーの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



- キャリッジとテーブルまたはステーションの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



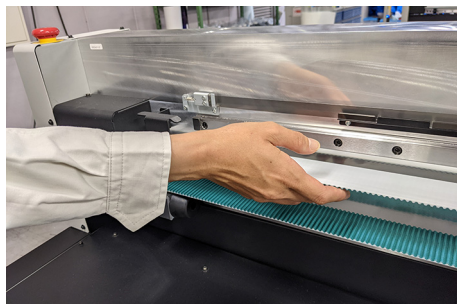
- Yバーとテーブルの隙間に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● 可動部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ Yバーのベルトに顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしないでください。



● ベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かない



- ・ Yバーやテーブル下のベア部に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたり、物を置かないでください。



● テーブルの下に顔や手など体の一部を近づけたり、入れたりしない



- ・ テーブルの下に潜り込んだり、顔や手など体の一部を入れたりしないでください。

● テーブルに手や物を置かない



- ・ テーブルに顔や手など体の一部、またはメディア（仕様）以外の物を置かないでください。



● UV-LEDを直視しない



- ・ UV-LEDを直視しないでください。椅子などに座って作業しているときは、キャリッジと頭の位置が同じ高さになっているので特に注意してください。



● キャリッジの動作を妨げない



- キャリッジが動作中（プリントやクリーニングなど）は、無理矢理キャリッジを動かさないでください。
-

インクやその他本機で使用されている液体について

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが記載されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

警告



- ・ 自然水系や生活排水への漏洩流出を防いでください。一部成分において、水生生物に対する毒性があります。

注意



- ・ 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。<https://japan.mimaki.com/supply/sds/>



- ・ インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず付属の保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- ・ 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。それ以外の不凍液を使用されると、冷却ユニットが故障するおそれがあります。
- ・ 静電気・衝撃火花による着火源が生じないように注意してください。
- ・ 不要となった不凍液は以下の方法で処分してください。
 - (1) おがくず、ウェスなどに吸着させて、焼却炉で焼却する。
 - (2) 免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する。



- ・ インクボトルに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- ・ インクボトルを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- ・ 子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- ・ 廃棄されるときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例にしたがって処理してください。

注記



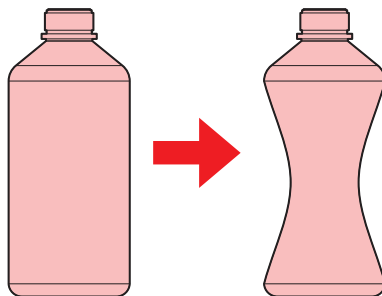
- ・ インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。プリンターが破損してしまう原因になります。
- ・ インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気やインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りできなくなってしまうおそれがあります。



- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
 - (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
 - (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
 - (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。



- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



- 直射日光が当たる場所にインクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を保管しないでください。
- 金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所にインクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

本機の制限について

インクボトルにインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良や色みに変化を生じるおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

例) 消費有効期限の記載が、2021年4月の場合

- 5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 7月：プリントすることができません。

設置上のご注意

警告



- 引火する危険性（ガソリン、可燃性スプレー、アルコール、シンナー、ラッカー、粉塵など）のある環境に本機を設置しないでください。本機は防爆タイプではありません。爆発などのおそれがあります。



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。インクに引火するおそれがあります。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気が多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 子供が立ち入るおそれのある場所に本機を設置しないでください。

注意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
 - (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
 - (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注記



- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風が当たる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



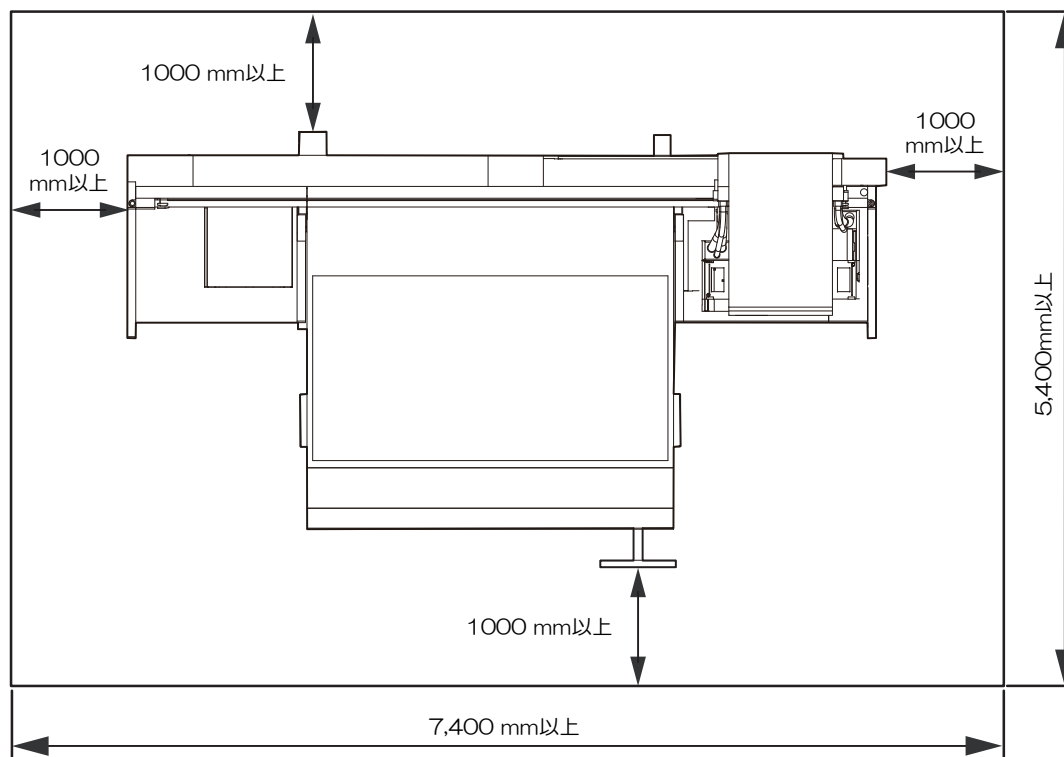
- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。

項目	JFX600-2513	JFX550-2513
幅 ^{*1}	7,400 mm以上 (5,400 mm以下)	
奥行き ^{*1}	5,400 mm以上 (3,400 mm以下)	
高さ ^{*1}	(1,700 mm以下)	
重量	(1,200 kg以下)	

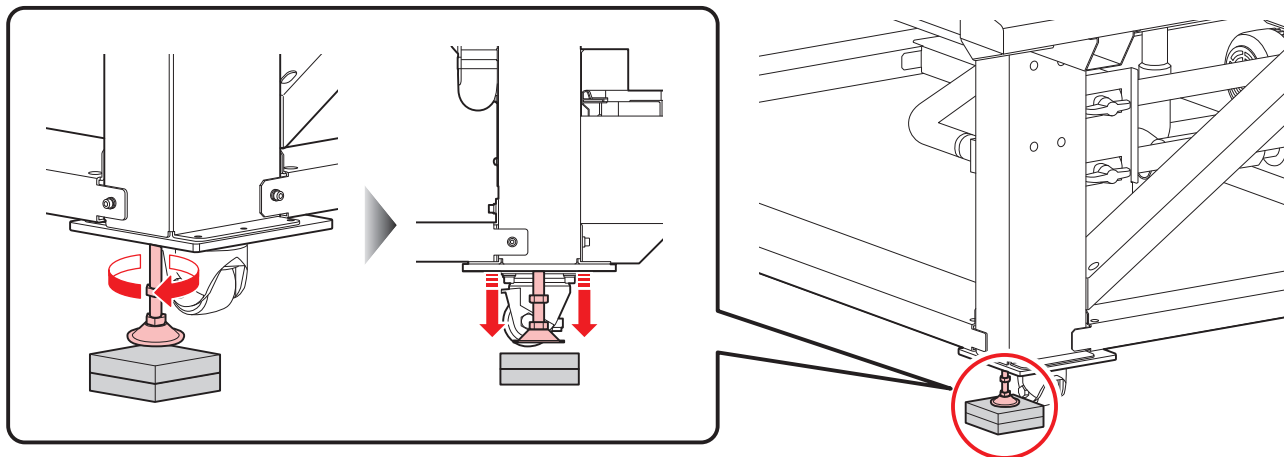
*1. () 内は、タッチパネルを含む本機のサイズです。



- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
 - (1) 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
 - (2) 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。

アジャスターフットについて

本機の電源を入れる前にアジャスターフットが緩んでいないかどうかを確認してください。アジャスターフットが緩んでいると、プリント中に本機が動いてしまってケガをするおそれがあります。



- 台座板（樹脂製、色：グレー）を外さないでください。台座板は本機の重量を分散させる役割があります。

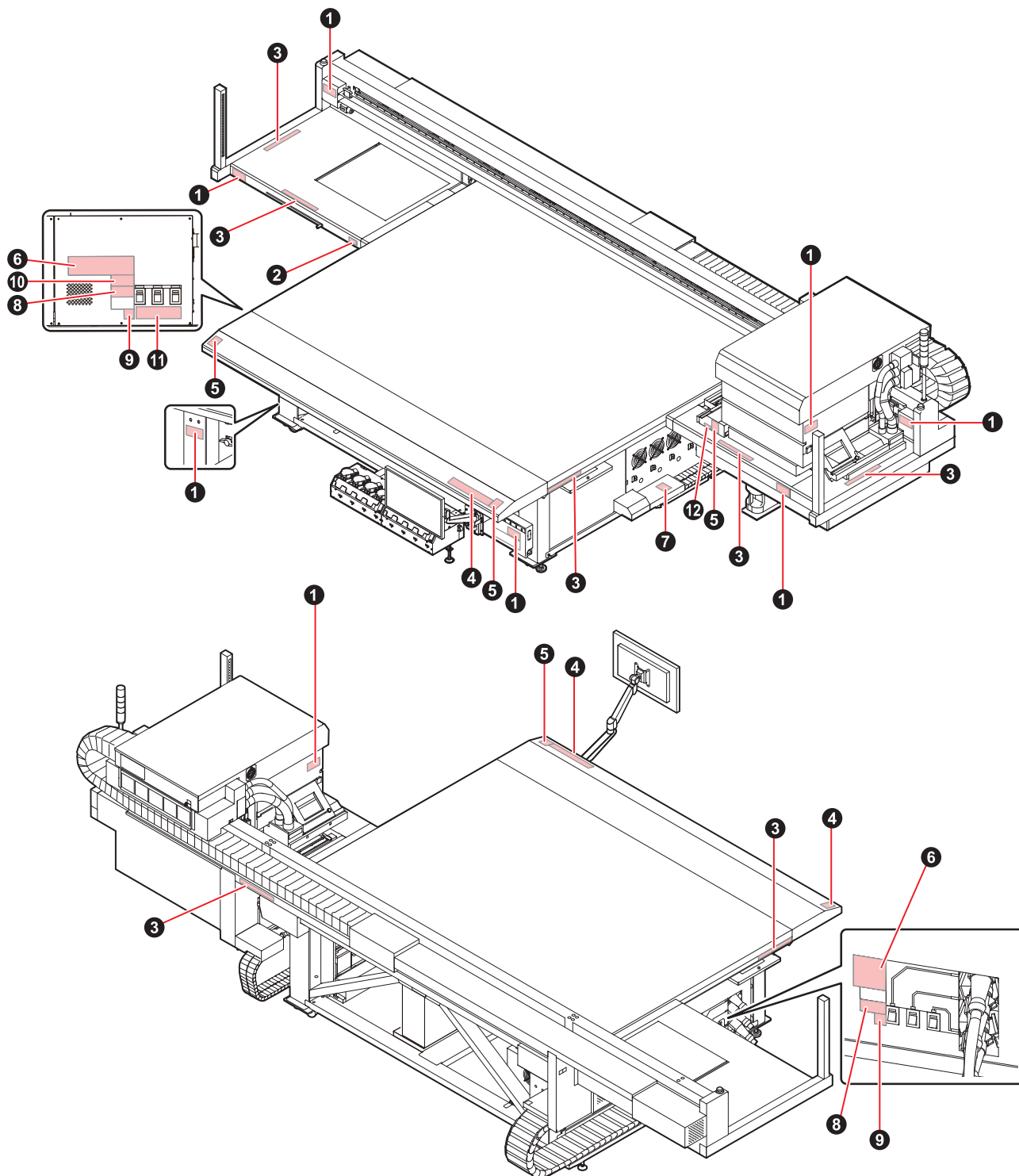
本機を移設したいとき





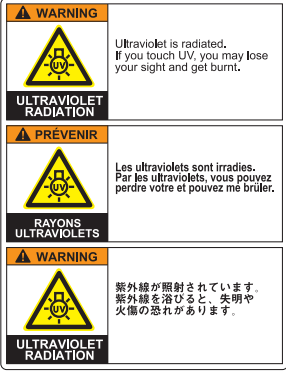
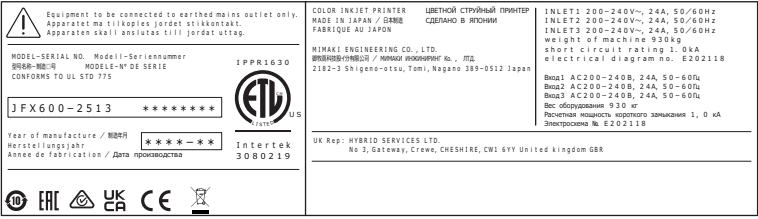


販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

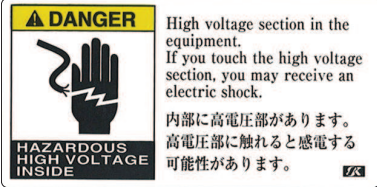


警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル
1	M909381	
2	M903330	
3	M906115	
4	M902663	
5	M905980	
6	M917293 (JFX600) M917294 (JFX550)	
7	M909385	
8	M903281	<p>See SET UP GUIDE before connecting to the supply. 電源を接続する前に、必ずセットアップガイドを読むこと。 在接通电源之前请一定阅读安装说明书。</p>
9	M907935	

No.	注文番号	ラベル
10	M903764	
11	M917898	
12	M917420	

同意確認書

お客様控え

同意確認書

私は、ミマキエンジニアリングのサービスもしくは販売会社から、本装置のマニュアル「安全上のご注意」に従い、適切な安全訓練を受講したことに同意します。また、安全訓練受講者およびその者から安全訓練を受けた者のみが、本装置を使用することに同意します。

本装置： JFX550-2513, JFX600-2513

受講日 _____

安全訓練受講者

安全訓練実施者

氏名 _____

氏名 _____

社名 _____

社名 _____

サイン（受講者）	サイン（実施者）	受講日
-----	-----	-----

キリトリ線

メーカー控え

同意確認書

私は、ミマキエンジニアリングのサービスもしくは販売会社から、本装置のマニュアル「安全上のご注意」に従い、適切な安全訓練を受講したことに同意します。また、安全訓練受講者およびその者から安全訓練を受けた者のみが、本装置を使用することに同意します。

本装置： JFX550-2513, JFX600-2513

受講日 _____

安全訓練受講者

安全訓練実施者

氏名 _____

氏名 _____

社名 _____

社名 _____

安全上のご注意

2022年2月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

